

テーマごとに作成してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	
施設名（園名等）	にじいろ保育園三鷹下連雀

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身の回りの「文字」「言葉」「数字」

<テーマの設定理由>

園には絵本や文字の張り紙が多くあり、文字に接する環境ができています。日頃、子どもたち自身で絵本を読もうとしたり、保育者に読んでもらいながら、文字や数・言葉に興味・関心を持つようになり、その興味・関心をさらに深め、保育者と一緒に探求していくため。

2. 活動スケジュール

2025年4月～2026年3月 年間スケジュール								
実施予定日	テーマ	対象クラス・対象人数						活動予定内容
		0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	
		※「とうきょう すくわくプログラム」の対象クラスについて、対象人数を記載してください。						※活動予定内容を記載してください。
2025年9月頃	秋の自然物			12人				童謡の「まつぼっくり」を保育者と一緒にうたいながら子どもたちが秋の自然物に興味・関心を持ち探求していく。
2025年10月頃	秋の季節			12人				秋に関する紙芝居や絵本・図鑑を用いて、子どもたちが感じた疑問や不思議を保育者と楽しい雰囲気の中で秋の自然物について探求していく。
2025年11月頃	季節の移り変わり			12人				秋から冬にかけての季節の変化がわかるような絵本・図鑑を用いて、子どもたちから出た不思議さを保育者と楽しい雰囲気の中、探求していく。
2025年12月頃	クリスマスの不思議			12人				クリスマスの絵本や歌を通じて、子どもたちが抱く行事への疑問を保育者と一緒に季節を感じながら探求していく。
2025年1月頃	お正月の行事			12人				子どもたちにとって身近な行事のお正月の歌をうたったり、紙芝居を読み聞かせしながら保育者とともに子どもたち自身で考え探求していく。
2025年2月頃	冬の自然			12人				保育者と雪などの冬の事象に関する歌をうたったり、絵本などを見て、冬の事象について関心を子ども自身で探求し、深めていく。
2025年3月頃	ひなまつりの面白さ			12人				ひなまつりに関する紙芝居や、絵本を見て子ども自身が疑問を持ち、保育者と一緒に歌をうたい、楽しい雰囲気の中で探求をしていく。

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ・ 活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・ 活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

活動の為、子ども達が講師の方の顔が見えるように座り方などを考えて活動を行い、活動中もクイズなど子ども達に親しみやすいようなもので活動を行ってもらったことで、とても楽しんでいる姿が見られた。

子ども達に自分の名前と同じ文字を探そうという活動内容では「〇〇ちゃんの、“つ”など子ども達にとって身近な文字についての考えたことでより積極的に活動に参加していた。

講師も、あえて答えは言わずヒントを出して考えを導き出すという方法で進めていた。活動に必要な、鉛筆や消しゴムを用意し、活動を行った。

数の大小を知らせる時も、磁石を使用したり身体を動かして探究したりと、とても分かりやすく伝えていた。

数の大小を知らせるときに、保育者も子どもたちに「磁石が何個ある？どっちが多い？」などと声を掛け、子どもたちは「1, 2, 3…3つ！こっちの方が多い！」などと話していた。

子どもたちが、ひらがなクイズをしていた時は子どもたちが「あり」など「あ」の付く言葉を伝え、講師の方がそのカードを持っていなくても「そうだね！ありも“あ”が付くね。今日は“あり”さんのカードは持ってきてないんだ。他に“あ”の付く言葉はあるかな？ヒントは、甘くて…」と言葉のやりとりをしながら子どもたちの探求心が高まり、答えに通じるような言葉がけをしていた。

保育者も、クイズに参加し子どもたちが保育者に「答えなんだろうね？」など声を掛け保育者が「みんながよく、食べたことあるものかな？」などと伝え、一緒に考えていた。

ワークシートで鉛筆を使用したのが、鉛筆の持ち方を「ピヨピヨの持ち方だよ。」と講師の方が伝え、子どもたちも「ピヨピヨだね。」と言いながら鉛筆を持つ姿があった。ワークシートも、講師の方の指示通りにできなくても「すごい上手だね。ここがちょっと出ちゃってるね。でも、はなまる。」と子どもたちのやる気をなくさないような言葉がけをし、ワークシートにはなまるを書くのを見ていた。子どもたちも「はなまる嬉しい。次は線の上を書けるようにする。」という言葉も聞かれた。

保育者も、子どもたちの書いたワークシートを見て「きれいに書けたね」と声を掛け、子どもたちも笑顔で「こうやって書いたの」などと答えていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

文字など、子ども達の身の回りにあるものだったので、親しみもあり活動に集中しやすかったように感じた。

内容も、子ども達の名前などに紐づけて活動をしたことで、より子ども達は楽しめたかと感じ、言葉もすべて肯定する姿もあった。

言葉もゆっくり話したことで、子ども達の頭の中に残りやすかったと感じた。